

LIP (りっぷ) は、枚方市民発の
福祉・教育・文化・環境・ボランティアなどの
情報を掲載する地域密着型情報紙です。

2022年2月号



今年もチャレンジします！
「みんなで作る学校とれぶり
んか」のハイブリッドミュージ
カル(4ページ)



大野駅前の商店街で放射線量を測った。自由
に通行できる状態になったが、今も 1μ
 Sv/h 以上を示した。通常の20倍以上
の放射線量

(2021年12月撮影)

3ページ「11年目の福島浜通り報告」



- ✎ 言いたい放題！アッキー28号(52) 城下町での思い出
- ✎ 11年目の福島浜通り報告
原発事故被災地に行ってきました(1)
- ✎ 今年もチャレンジします！ハイブリッドミュージカル
- ✎ うたかた話 21 今昔物語(10)
- ✎ 今月の五行歌
- ✎ なんちゃって農業女子(笑) 11
- ✎ 手作り竪穴住居で聖夜のイルミネーション
- ✎ わたしの闘病日記「身体中で一番新しい関節に感謝」(7)
- ✎ イベント紹介 ✎ 編集局より/会計報告

「LIP編集局」

<https://love-dugong.net/lip/>

連絡先

メールアドレス: lip@love-dugong.net

TEL: 070-5653-6913 (18時以降)



休日つけっぱなしにしていたテレビから、聞いたことのある地名が聞えてきた。目を向けると、九州の城下町の観光案内だった。江戸時代の町割りも今も残る情緒あふれるところと紹介するキャスターの声を聞きながら、昔そこを訪れたことを思い出した。

もう40年近く前のことだ。当時私の生家では弟が登校拒否、家庭内暴力の末、引きこもっていた。私自身大学卒業後就職もせず、習い事をしてたり資格試験の勉強をしていた。しかしこのままではいけないと、弟の暴力の支配する家から出て自立することを決意。親の全面的なバックアップのもと「家出」した。先に家を追い出される形で近くに部屋を借りていた父のもとに身を寄せると、怒り狂った弟が押しつけてきて、「ママにおるんか! 出てこい〜!」

怒鳴る声を押入れの奥で震えながら聞いた。ほとぼりの冷めるまでと、父の故郷の伯母宅に二カ月ほどお世話になり、そこから自動車学校に通い、運転免許を取った。

それまで行けなかった旅にも出た。夏だったが、南国のイメージを求めて一週間の予定で大阪から南下。ちょうど国鉄が民営化され、JRが誕生した頃だった。宮崎に宿を取り、ガイドブックを見て心惹かれて降りた城下町の駅に、私の他に降りた乗客は2人だけ。昼前だったので駅前にある食堂に入ると、その人たちも店に入ってきた。見たところ70代後半の夫婦だ。

「おや、珍しい。あなた、観光ですか?」先に声をかけてくれたのは、眼鏡をかけて帽子をかぶったご婦人の方。「はい、大阪から来たんですよ」「ほお、そうですか」。注文したうどんと一緒に食べながら、なんとなく自己紹介して

言いたい放題! アッキー28号 (52)

城下町での思い出

話し始めた。

「僕はこれからこの町の家に帰るところなんですけど。せっかくですから、車で町を案内しましょう。」



「いいところなんですよ〜」「え、いいんですか?」

ご夫婦と一緒にタクシーで町内を巡ることになった。車を降りると手をつないで先を歩き案内してくれるお二人に、「仲の良いご夫婦なのですね」と言うと、「僕らね、本当は夫婦じゃないの」とご婦人と同じく白髪に帽子、眼鏡をかけた老紳士はにこやかに笑って言った。

「二人共つれあいを亡くしてね。出会ったの。とても仲が良いんだよ。でも、遺産相続のことがある。子どもたちが賛成してくれないから、一緒に住んでるけど、籍は入れてないんだ」「そうなんですか」

土地の案内をしながら自分たちのことも話してくれる、おしゃべりが上手なおじいちゃん、にこやかに黙ってそれを聞いているおばあちゃん。「僕は、時代劇の、あの主人公と同じ名前。新さんって呼んでね」「新さんですか!」「この人、威厳があるでしょ。学校の先生だったんだよ。私の方がちょっと年下。でもすてきな女性で惚れちゃった。この人のおうちにはね、立派な門かきぎの松があるんだ」「すごいですね〜」

よく晴れた夏の日だったが、爽やかな風で暑さを感じなかった。一回り町を案内しても

らい、タクシーで駅まで戻るとお礼を言って、二人と別れた。

旅の楽しさは、美しい景色や珍しい料理ばかりでなく、そこで出会う人たちとのふれあいも大きいだろう。その後も私はユースホテルに泊まり、出会う人たちとの交流を楽しんで、大阪に戻った。住所と電話番号を交換したお二人には礼状を書いた。

数カ月たち、就職に向けて準備を始めた私のもとに老紳士から電話が入った。「本当にすまないのだが、5万円ほど貸してくれないだろうか?」そんなことを言える義理じゃないんだがと、受話器の向こうから聞こえる声の主の姿を思いはかりながら、「申し訳ないのですが私には無理です」とお断りした。一体どんなことがあったのだろうか。電話を切った後、想像して悲しくなった。

そんな思い出のある町の様子を、テレビは映し出す。スイーツやグルメスポットを案内する地元観光協会のお嬢さん。もしかしたらお二人のどちらかに縁のある方かも、とふと思う。お二人は最期の時を一緒に過ごせたのだろうか。もう遠い過去だから安心して思い出せる。

互いに思いやりと愛情を持ち続けるためには、何か一つ欠けたものがあるほうがいいのかもしれない。そう思いながら、格子に角灯籠、番傘を飾った商家の町並みを見ていた。

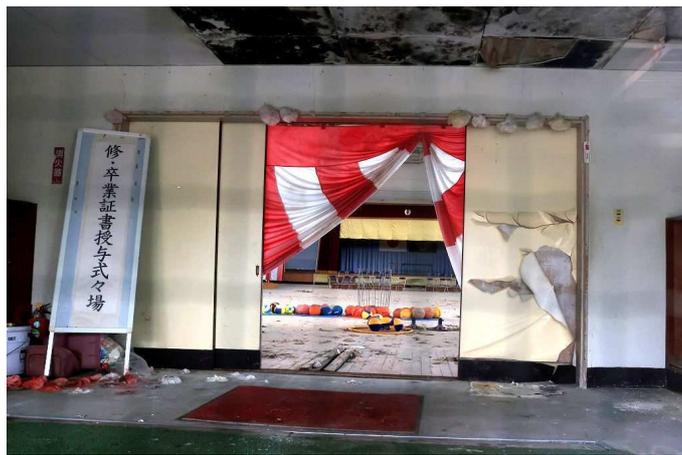
(著者プロフィール) パート勤務の主婦。
自閉症を持つ成人した息子がいます。
放課後クラブ『チャレンジ・キッズ』代表

<https://ameblo.jp/challengekids81573/>

11年目の福島浜通り報告 ～原発事故被災地に行ってきました～ (1)

久しぶりに浜通りのみなさんにお会いできました

みなさんは、福島第1原子力発電所の爆発事故のことを、知っていますか。あれから11年、あの原発事故で被災した人たちが今どのように生活しているか知っていますか。放射能の影響はなくなり、もう普通の生活をしていると思っ



双葉町立双葉北小学校 体育館の入口
帰還困難区域で今も避難状態の地域の小学校。事故発生時に卒業式の準備がされたまま残された体育館

私は、2013年夏、先輩教員から「福島にボランティアに行かないか」と誘われ、以後毎年夏と冬の訪問を基本に、福島県の浜通り（太平洋岸の地域＝津波と放射能汚染の被害が大きい地域）に継続して行っています。はじめの福島で、被災地の方の「ここで見た事実を、正しく大阪で伝えてください」のことが心に残り、これだけはやっていこうと思ひ、被災地の様子を写真に撮り続け、自分なりに伝える活動を続けています。

最初に福島に行った時から、活動の中心は人との交流でした。9年間つながり続けている方も多いです。コロナ禍により会えなかったみなさんと、今回の訪問で久しぶりに再開し、お元気そうな顔を見ることができてほっとしました。

今回お会いした方との交流の中で、汚染水の放出問題や、除染で出た汚染土の処理の問題などの現状についての話にもなりました。「山の中は除染されない、だから山菜やキノコは今も高い汚染の状態にある」「どんどん除染が進められ『還りたい人がいる』と避難指示が解除されるけど、正直ここは人が住んでいい場所とは思えない」「正直言って、除染など何もしないでほっ

といてほしいと思っている。時間が経つしか放射能はなくなるから」という正直な思いを話してくださいました。また「帰還してと言っても、その多くが高齢者で、若者はほとんどいない。事故前とは人の様子がまったく変わってしまった」とも話されました。

何よりも心に残ったのが、「家族や地域の仲間と助け合って、山の中の自然の恵みをいただきながら暮らしていた生活が奪われてしまい、それは除染して故郷に帰ってももう元には戻ることではないことが何よりも問題で悔しい」というお話でした。原発が事故をしたことで、そこに住む人々から何を奪ったのか。避難した人、避難しなかった人、還ってきた人の誰もが「安心して、今まで通り、当たり前な生活を営む」ということが奪われたということ、それがどれほど人の心を傷つけたかということをしかり見て知って、それを伝えていかなければならないと改めて思いました。

今回も、交流の他に、被災地の各地に行き、現状を見てきました。そこで見た姿は、みなさんが話されたことを裏付けるものでした。(次回に続く)

(2021年に福島県で撮った写真の写真展を大阪市内で開催します。是非見に来てください)
文/写真 木村英生 (大阪市立中学校教員)

写真展と、被災地の現状報告会を行います。

●写真展●

タイトル：私が見てきた「被災地」福島Ⅳ ～被災の現実に向き合うために～

日程：2022年2月27日～3月27日
(予定)

時間：9:30～20:00 (平日)
9:30～17:00 (日・祝)

場所：アネックスパル法門坂 (JR森ノ宮駅下車徒歩7分)

●報告会●

タイトル：「原発事故の被害は風評被害ではない ～被災の真実に向き合うために～」

日時：2022年3月13日(日) 14:00～ (予定)

場所：アネックスパル法門坂

日程等が変更される場合があります。アネックスパル法門坂のホームページでご確認ください。

今年もチャレンジします！ 「みんなでつくる学校とれぶりんか」の ハイブリッドミュージカル

とれぶりんかでは昨年1月～3月にオンラインでみんなでつくる朗読劇 2020 の開催を皮切りに、2019年から一時活動を休止していた子ども劇団が復活し、大阪・東京の2拠点で公演をしています！

今回は活動再開した、とれぶりんかの子ども劇団の活動の中から、今年3月に公演を予定している初めてのミュージカルについてご紹介したいと思います。

2022年3月6日公演 1/16～レッスンが始まったハイブリッド ミュージカル『セミ君の7DAYS 物語』

昨年の朗読劇からグレードアップ(?)して、今年はリアル×オンラインで参加者を募り、ホールを借りて公演をするハイブリッドミュージカルにチャレンジしています！

とれぶりんかでは、2021年11月に行われたひらかた社協ふくしフェスティバルのように音楽ライブや演劇を会場とオンラインで同時配信するなど、市民団体らしからぬ先進的な取り組みをしてきました。今回はミュージカルということもあり3月に予定している公演では、今までのような同時配信はできないのですが、ホールではオンライン組が担当したパートを事前に撮影し、編集したものを会場で流しながら、リアル組の歌や踊りが進行していくスタイルで公演を予定しています。

オンラインの特性上、複数の演者が同時に話す、歌うといったことは聞き苦しくなったり、タイムラグが不自然になってしまうのでできません。そういったことを踏まえて、事前に録画、録音したものを編集して仕上げから会場で流すのですが、どれも初めてやることばかりで、現場は毎日チャレンジを繰り返しています！

技術面とミュージカルの演出、演者との調整などなど、問題も課題も山積み！作品に仕上げるまでの長い道のりをチームみんなが「大変だー、どうしよー!？」なんていいながら産みの苦しみを味わいつつ取り組んでいます。

すったもんだで文化祭のようなテンションで進めている私たちですが、関わっている人はその道のプロばかり。原作はバルタン X (とれぶ

りんか代表：中川先生) から借りたものを使用し(もちろん中川先生もその道のプロです!)、脚本家の手にかかりミュージカル用に変更し、演出、振付も現役の劇団員が務め、作品に合わせた挿入曲を何曲か作り、映像や音響もプロの方が担当しています。

表現活動を生業としている私たちだからこそ、作品のクオリティにも拘る！並々ならぬ決心で今回のミュージカルをゼロから制作しています。

さて、これだけの人に関わり制作しているミュージカル。原資はどこにあると思いますか？今回のミュージカルも子どもたちが実際に関わる部分については子どもゆめ基金の助成金が使われています。しかし、助成金が使えないのはレッスン代や会場費といった活動をするのにあたり必要な経費まで。プログラム制作に必要な費用については助成金は使えないのです。

ということで、作曲や編曲、技術面でどうやったら今回の取り組みが成功させられるかといった打ち合わせや現場での確認といった人件費や制作費はスタッフ個人の持ち出しとなっています。

私たちがチャレンジしたい！と勝手に始めたことではありますが、大人たちが必死になって新しいものを生み出そうと頑張る姿を、子どもたちに見せることで何か感じ取ってほしい。また、演劇活動を通して自己表現を学んでほしい。そんな思いで取り組んでいます。

今回のミュージカルは公演後にオンラインでも配信しますので、私たちの活動に興味を持ってくださった方は、クラウドファンディングページからオンライン配信チケットを購入してください！ほかに多彩なリターンをご用意しています。とれぶりんかの新しい取り組みを是非応援してください。また、どんな形でもいいので一緒に活動してみませんか？ご支援、応援よろしく願いいたします！

クラウドファンディング
挑戦中！

特典付きのチケットは
リターンからどうぞ！



<https://camp-fire.jp/projects/view/493661>

前回の終わりに次回は“鬼子母神”について書いてみたいと書きました。今回は今昔物語を離れて以前に調べた阪急の北側について書いて見たいと思います。

皆さん鬼子母神と簡単にプリントしていますが、気がついてますでしょうか？

鬼子母神の“鬼”の字には本来、一画目の「角」が有りません。此は鬼子母神の角が折れた事を表しています。この事を知っている方は少ないと思います。しかし「角」の無い「鬼」字が有りませんのでここでは普通の「鬼」を遣います。

そもそも鬼子母神は法華経に書かれている神で、初めは多くの子供を殺しては食べて自分の栄養にしていました。それを見かねたお釈迦さんは鬼子

母神自身の最後の子供を隠されました。半狂乱になった鬼子母神に対しお釈迦さんは『多くの子供が有っても一人の子供が居らなくなっただけでこの様になる。それではその大事な子供を食べられた親はどうすれば良いのか？』と言われました。

それで初めて気がついた鬼子母神は心を入れ替え多くの親と子を護る神と成りました。此が鬼子母神のいわれです。

この鬼子母神を祀るお寺は東京に多く、大阪には有りません。最も有名なのは「恐れ入谷の鬼子母神」で有名な東京都台東区入谷の真源寺に有る鬼子母神ですが、その他でも日蓮宗のお寺では鬼子母神が多く祀られています。

大阪にも一つだけ鬼子母神を祀るお堂が有りました。それは柴田町を北に行った所で、元の『飛天』の有った所を中津の方に少し行った所にそのお堂はありました。私は記憶を頼りにその辺りを歩きましたがその様なものは影も形もありませんでした。

阪急の横からこの通りには電車が走っていました。その電車を我々は「手ぬぐい電車」と云っていました。と云いますのは阪急と中津の間を二台で行ったり来たりしてしまっていたのでその名が有りました。当時は天六と野田阪神の間の国道二号線を路面電車が走っていました。此を『国道電車』と言っていた記憶があります。

そこで私はその近くの源光寺に行き、其処の

ご内儀と話しましたが、鬼子母神は高槻の摂津峡の近くの『鬼子母神慶住院』という所に移転したそうです。源光寺はこの辺りとしては由緒あるお寺で、行基が天平十九年(747)に開山し、法然上人が復興されたお寺でその境内には『源光寺道』と書かれた石碑もありました。

ここにあった時の鬼子母神は「鬼子母神の祠が一つある」様な小さなお宮さんでしたが、そのお社の周りがお百度参りの道になっており、お袋は良く其処を竹の割ったのを持ってお百度参りをしていました。私は母に手を引かれて、

お堂の周りを回っていたのを覚えて居ります。其処はそんなに人が通る所では有りませんので大概はお袋と二人でお百度を回っていましたが、それでも

たまには仲間が居り、皆竹の割ったのを持ってお堂の周りを回っていたのを覚えて居ります。

此が大阪で唯一の“鬼子母神”の姿です。今は其処には無く、遠く高槻にその姿を移して居ます。

ちなみに阪急の横から中津までを書いてみますと、阪急の横には北野劇場、梅田劇場があり、それをJRの高架を超えて北に行きますと、今では4チャンネルのテレビ局になっていますが当時は百又のビルが有り、昭和の初めには九階の建物がありました。そして綱敷天神社の御旅は細長いお参りできる様になったお社で、ちょっとした子供の遊び場でした。今では御旅が階段の上になりほんの一区画を形成しているに過ぎません。

その向かい側は阪急のビルディングで紀伊國屋の本屋があり道路を隔てて古本屋が並んでいます。此れ等の古本屋は昔は日本橋にあったもので今では電気屋町になっていますが昔は大概の本はこの日本橋の古本屋街に行けば見つかりました。此処も3月13日の大阪大空襲で総て灰燼に帰してしまいました。大阪の大空襲は又の機会にしたいと思います。

今回は以前に調べた阪急近辺の大阪について書きましたが次回は又考えます。今回もPCのWIKIPEDIAのお世話に成りました事を付け加えておきます。おしまい。

小田川徳男

うたかた話(21) 今昔物語 (10)

LIPが選ぶ

今月の五行歌

どんど焼きに参戦

ふわり

ゆらぐ炎に投げ入れる

燃え上がれ燃え上がれ

すべて燃やして

天に帰れ

引き出しの片隅で

出番は何時かと

待つている

寂しそうに

私の口紅

えみこ

寒いと

思うだけで

巣ごもり

用事で外に出ると

太陽から笑顔を貰う

坂口壽樹

五行歌(ごぎょうか)とは……五行で書く短い詩。字数や季語などの制限はなく、自分のおもったこと、感じたことを、そのまま言葉にして書きます。枚方では、五行歌ひらかた歌会が、8月を除き月一度歌会を行っています。

(連絡先: akkie.toyotaka@gmail.com)

または 090-5893-5635・豊高)

No.11

なんちゃって農業女子(笑)

みなさんこんにちは、へそくんです。

さて、2022年2回目のおはなしは……(笑)いつも締め切りギリギリまでネタが浮かばなくて編集部のみなさんスイマセン。

スイマセンといえば……水仙。前回の号で、2022年の私の一文字は「花」にする、言いました。そして、お正月の切り花として玄関に飾っていた水仙の花が、一か月経とうとして1月末現在、まだまだきれいに咲いています。花瓶の水も腐ることなくきれいです。

『畑でおいしい水をつくる』という本を書かれた、橋本力男氏の教えを受けたのが2020年。コンポスト学校という「堆肥の勉強会」に橋本氏の堆肥・育土研究所のある三重県白山町まで、二週間に一度通い、講義・実習を繰り返して一年間学ばせて頂き、わかったことは、「野菜作りは土作り、その土を造るのは土壌微生物。その微生物が安心して生息できるよう、おいしい空気とおいしい水をつくる」ってこと。微生物が住めないような土で作った野菜が本当においし

いのかどうか？

野菜の重量の80%~95%は水分ですから、畑の水が汚ければおいしい野菜は育たない、なので、私も有機農業にトライしてきました。

橋本氏は、オーガニックフラワーも手掛けておられ、氏曰く「有機の花は水が腐らない」とのこと。私も、この2年間化学肥料や除草剤や殺虫剤を一切使わず、野菜もお花も育てた結果、花瓶の水が長持ちする水仙を育てることができている、と言う訳です。

そして……うちの畑の野菜は「萎れる」けれど「腐らない」です。しわくちゃにはなる。

そうは言ってもこの一月は、畑にほとんど行ってなくて、収穫できる野菜も殆ど無いですし、何と言っても「寒い」から……(笑)

しかし、この寒い中、晩秋に種まきしたエンドウやそら豆が震えながら芽を出している姿は、とても健気ですね。春に向けて、作付け計画や苗を育てたりポチポチスタートです。

(文・写真 へそくん)



弥生時代のクリスマス！？ 手作り竪穴住居で聖夜のイルミネーション

高槻市のJR・高槻駅、阪急・高槻市駅から歩いて各々10分、14分の距離にある、安満（あま）遺跡公園には弥生時代の貴重な遺跡が眠っています。京大農場の稲穂と共に、その跡地を含めた一帯が防災機能を備えた緑豊かな公園として整備され、2019年3月一部開園し、2021年3月末には全面開園しました。

この公園で活動している市民グループが「安満人倶楽部（あまんどクラブ）」です。2014年「安満遺跡公園市民活動プロジェクト」として発足し、現在会員数は約100名強。歴史、防災、自然など8つのグループに分かれて様々な活動を行っています。

2021年冬には「竪穴住居グループ」が手作りで作った竪穴住居にクリスマスに合わせて12月23日～25日電飾イルミネーションを飾りました。3日間に会場を訪れた人たちは約100名余り。晴れた夜空にきらめく電球を眺めて、来場者は口々に「きれい！ 美しい！」と連呼。「住居の中に入れてよかった」、「3日間で点灯終了とは残念。もっと延長できないの？」という声もありました。



「今回は試行活動として事前PRも抑えて実施しましたが、来場者からは『来年もぜひ』とのご希望をたくさんいただきました」「これからも季節に合わせた活動を行っていきたいですね」と安満人倶楽部会員の皆さん。同歴史グループでは、事前申し込みで公園内歴史ガイドをしています。「お1人でもグループでもどうぞ」とのこと。

公園内の施設では、子ども向けのイベントや歴史謎解きゲームなど楽しい企画が盛りだくさん（*）。約2500年前の環壕集落跡に新しく生まれた公園で、みんなの夢がおおきくふくらんでいきます。

写真：安満人倶楽部（あまんどクラブ）会員
まとめ：LIP編集部 豊高明枝

☆安満遺跡公園：

<https://www.seibu-la.co.jp/park/ama-sitepark/>

☆安満人倶楽部：

<https://amando-club.jimdofree.com/>

*緊急事態宣言により中止になるイベントもあるので、最新の情報をご確認くださいとのこと。



イベント・サークル・ボランティア情報

【枚方自閉症児（者）親の会】

お母さん、一人で悩んでいませんか？ 障害があってもなくても、みんなと一緒に成長していきましょう。

おじいちゃん、おばあちゃんも歓迎です。

◆ 日時：2月14日（月）10時～12時

◆ 場所：ラポールひらかた 4階共用ルーム

※連絡先 松崎 072-845-3014 さんなみ 072-868-9929



● 新型コロナウイルス感染防止のために、催しが中止・延期になる可能性があります。主催者にお問い合わせください。●

わたしの闘病日記

「身体中で一番新しい関節に感謝」(7)

いよいよ退院に向けて最終段階になり、病院周りの道を実際にOT(作業療法士)さんと歩く訓練が始まりました。

担当者が決まっているので、この頃になると話も弾むし、脚は楽になってきているので外に出るのが楽しみでした。手術から28日目、リハビリ中心の病院に転院して7日目で僅か20分ほど田んぼ周りを歩き、久しぶりにシャバの空気を肺いっぱい取り入れました。

季節は8月盆過ぎ、本来なら外の暑さで外出する気が起こらないけど、汗ばむのも心地よく感じられました。しかしスロープを降るのは細心の注意を払わないと怖いです。少しの傾斜が怖いなんて思いもしていませんでしたが、バランスを崩しそうになるので。室内でのリハビリは、階段の交互歩きですが手術した脚に力が入らず、筋力が弱くなっているのを実感しました。

さらに訓練用の5段～6段階でなく、病院内の階段での昇降訓練が始まり、この訓練はきつかったです。訓練用は1段の高さが約12～16cm位だが、実際の階段は約20cmあるので予想以上に大変でした。特に下りが痛かったです。左足を先に降ろすためには、一瞬右脚(手術した脚)のみに全体重がかかり、股関節と膝が曲がりながら体重移動をするのですね。その中途半端な姿勢が痛みを伴い辛いのです。以前便座に座るのが辛いと話しましたが、便座では両足で全体重を支えています、階段は片脚で支えることになるので、さらに辛い。もちろん手すりに頼り、杖も持ちながらですが、それでも痛くて辛いのです。

自主トレで階段昇降しますが、登りは良いよい、下りは怖い! 筋肉痛になりながらも、時間を見つけては階段を上り下りしました。

初めての外歩きから1週間、歩く距離が伸びてきて、緩やかな坂道に挑戦。登りは楽なのですが、下りが大変です。山登りでも下りの方で脚が辛くなりますが、それだけ足が踏ん張ってくれているのですね。本当に自分の身体に感謝です。

登れば次は下らないと戻れない、踏ん張って踏ん張って……下って病院に戻りました。

7月末に手術し本来なら9月末に杖なしでも歩けるようになってから退院するのですが、私は仕事の都合でどうしても9月1週目には退院しないとなります。退院に向けて正座・正座から立位・実際の道路を歩いて駅まで行きエスカレーターに乗ったり、より実践的なりハビリが始まりました。

そして晴れて手術後44日で退院となりました。後は自宅でのリハビリに励むこととなります。

イラスト 表紙、P7: 平井由恵

応援よろしくお願ひします♪

LIP 応援団

LIP 会計報告 (前号以降)

金額(円)	内容
24,089	前号から繰り越し
▼504	郵送代
▼500	ロッカー代
▼3,900	12月号印刷代
19,185	計(次号へ繰り越し)

■2022年1月、枚方市村野本町にある浄土宗光明寺の三つの掲示板には、ご住職の羽田雅法さんの寅の絵とのコラボで

『LIP』10月号に紹介された五行歌集『コケッコの妻』からの五行歌3首が掲示されています。

1年半ばかり境内に水仙がたくさん咲いて、外からでも美しく眺められます。ぜひ見に来てくださいね～!

(A)



求人～女性パートスタッフ募集

■ 職種: 生活支援員・簡単な事務・送迎

① 14:00～22:00 (休憩60分)

5時間以上・週3日以上で相談に応じます。
時給1450円

② 夜勤15:00～翌朝9:00 (休憩240分)

上記時間内で相談に応じます。月に2回以上。
時給1100円+夜勤手当4000円

※詳細はホームページをご覧ください。

★ 京阪枚方公園駅徒歩10分(枚方市上之町)

★ 問合せ ショートステイ みつきい

TEL 090-9167-7187

HP <https://tayuragi.com/>



「枚方市民にだけ」
読んでほしい情報サイト

枚方つーしん

検索